
俺、殺し屋やつてます。

権田 へいたろう

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺、殺し屋やつてます。

【Zマーク】

Z4066M

【作者名】

権田 へいたろう

【あらすじ】

高校生が殺し屋をやつている話です。
初投稿なので、温かく見守ってください！

1話　一学期初仕事　1部

俺は、北里高校1年D組14番、琴平憲次。只今、ある雑居ビルの屋上にいます。何でかつて？それは…

「今着きましたよ、ジンさん。田標も捕捉しました。」

「わかつた。成功を祈る。」

「殺し屋だから…」

「ふあ～」

今日は2学期の始業式だ。朝っぱらからめり込み、昨日も仕事だったし、なにより、

＜夏休み終わってほしくないよー！…＞

俺が何したってんだ！夏休みに仕事ばかり入ってて、まともに遊んでねーーー！うーーー！

俺が泣いていると、始業式に関わらず強烈な回し蹴りを食らった。

皆がきれいに列を作つて、わずかなスペースしかないにも関わらず、

綺麗に俺の後頭部にHIT！
こんな事が出来るのは・・・

「及川ああああああああああああ！」

「あんたのその泣き顔、つざい」

言われてしまつた。つて言うよりかなり目立つてる。ヤバい！ヤバすぎる！俺の大人しいキャラが――――――――！

及川は、テコンドーの達人で、成績優秀、スポーツ万能、容姿端麗で、一年でありながら既に『ミス北里』の異名を持つ強者だ。

「これで始業式を終わります。」

そういうしてゐうちに始業式は終わつた。
しかし、隣の及川は・・・

ものスッゲー表情なんですけど！さつきの回し蹴りでパンツが見られたから？ そうなの？ ねえ そうなの？

「つるせこ」

「『めんなさい』

プルルルルルル プルルルルルル プルルルルルル

「はい」

「仕事だ。標的のデータは送つといた。頼んだぞ！」

「わかりました」

「 プツッ

「誰かいらっ？」

「知り合いだよ。どうして？」

「なんでもない」

なぜか及川はそっぽを向いてしまった。えつーなんで?なんかした
?俺!

「何にもじゃない!ふん!」

明らかに怒ってるんですけど・・・
まあいいか、何もないって言つてるし。まぁ仕事だ!帰るか!

「及川帰ろうぜ!」

「うそ」

何故か頬を赤らめる及川。まさかまだ怒ってるのか!?
そんなことはまだいい。仕事があるから急がなきや!

及川と二人並んで自転車を並べてチャリを走らせる。おつ、もうすぐ分かれ道だ。

「おし、じゃ明日な及川！」

「うん。明日ー。」

ものすゞぐにこやかに別れの挨拶を言つてきた及川と別れて、全速力で家に向かつてペダルをこいでこいで、じめまへるひひひひひひ

家に着いて早速仕事の準備をする。今日は暴力団『革新会』の殲滅だ。

今日の装備は、防弾のためのタクティカルベスト、M4A1アサルトライフル、拳銃はベクターS.P.I.を持っていこう。

さあ、
戦場へ出発だ
・・・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4066m/>

俺、殺し屋やつます。

2010年10月11日04時06分発行